

第5章

魅力・元気・文化を誇るまち

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)			
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目				
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠									
514	産業経済部	産業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	農商工連携により創出された新事業数	農商工連携により創出された新事業数	支援事業に参加した事業者同士の連携により、実際に新商品や新サービスの創出につながった件数	R5目標値が未達成の理由・分析	B	きっかけづくり交流会においては、参加者数が年々減少傾向にある。特に、農業者の参加が少なく、いかに事業を魅力的なものとし、参加者数を増やすかが今後の課題である。きっかけづくりだけでなく、マッチング後の商品開発や商品開発後のフォローアップなども充実させ、魅力ある事業としていくことが必要である。	R5年度に改善した点	9 産業と技術革新の基盤を作ろう				
			重要	自治事務		273千円	93千円							①きっかけづくり交流会参加団体数 ②きっかけづくり交流会新規参加団体数 ③農商工連携により創出された新事業数		R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	
			根拠法令			R5予算現額	R5決算額(見込み)												R4正規職員人件費
						278千円	100千円							0.73人		0.25人	7件	5件	
			事業の目的及び具体的な内容			R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合												実績
			農業者、飲食店業者、食品加工業者等の情報交換・ビジネスマッチングの機会として「農商工連携のための勉強会」、「農商工連携のためのきっかけづくり交流会」を開催し、地元農産物などを活用した新たな商品やサービス等の創出を図るもの。			0.73人	0.25人							①30団体 ②10団体 ③5件		7件	5件	R6目標	
			期間			5,841千円	0.25人												R5正規職員人件費
H23 ~		0.78人	0.25人	6,303千円															
521	産業経済部	産業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①新規先訪問件数 ②既存先支援件数(情報提供、イベント実施)	新規先訪問件数	地域産業を牽引する事業者への専門家の派遣、訪問の件数	R5目標値が未達成の理由・分析	A	目標値に対して100%以上の成果が出たため。	R5年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤を作ろう				
			重要	自治事務		19千円	5千円							R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	R5目標	R5実績	
			根拠法令			R5予算現額	R5決算額(見込み)												0.38人
						20千円	5千円							3,041千円		0人	①5件	5件	
			事業の目的及び具体的な内容			R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合												実績
			所沢商工会議所中小企業相談所や埼玉県産業振興公社等との連携、国・県等からの専門相談員の派遣等により、地域を牽引する地域産業牽引事業者等を発掘し、これらの事業者による新商品開発や販路開拓等の積極的な取組の実現に向けた支援を行うもの。			0.38人	0人							①5件 ②17件		10件	11件	R6目標	
			期間			0.39人	0人												3,152千円
H31 ~		3,152千円	0人																
525	産業経済部	産業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①補助金交付件数(商工会議所取りまとめ分は1件として扱う) ②補助金交付金額	補助金交付件数(商工会議所取りまとめ分は1件として扱う)	事業の目的を達成するために、十分な周知を図り、一定以上の補助金交付件数を目指す。	R5目標値が未達成の理由・分析	A	目標値に対して100%以上の成果が出たため。	R5年度に改善した点	9 産業と技術革新の基盤を作ろう				
			重要	自治事務		4,000千円	4,000千円							R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	R5目標	R5実績	
			根拠法令			R5予算現額	R5決算額(見込み)												0.53人
			地域資源活用・ものづくり総合支援補助事業			5,000千円	4,908千円							4,241千円		0人	①9件	9件	
			事業の目的及び具体的な内容			R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合												実績
			市内の製造業者や農業者等の経営基盤の強化と地域経済の活性化を図るため、市内事業者が連携し、新商品やサービスの開発及び新たな販路の開拓等を行う際に、その経費の一部を補助するもの。			0.53人	0人							①9件 ②4,908千円		5件	9件	R6目標	
			期間			4,241千円	0人												4,283千円
H25 ~		4,283千円	0人																

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目		
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠							
523	産業経済部	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	病害虫防除に関する情報や薬剤の適切な使用について、必要な情報発信を行った。	R5年度に改善した点	1 貧困をなくそう		
			重要	自治事務		1,620千円	1,620千円										
			病害虫防除対策事業	根拠法令		R5予算現額	R5決算額(見込み)	①補助実施戸数	薬剤購入費の補助を受けた農家戸数	R4目標	R4実績					R5目標値が未達成の理由・分析	
				所沢市病害虫防除対策事業補助金交付要綱		1,620千円	1,620千円										
				事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合										
			期間	S63 ~		安定した農業生産と農産物の品質の向上を確保する。土壌病害虫、根腐病、野菜へのコガネムシ、茶の葉巻虫、カンザワハダニ等を防除するための薬剤の購入に要する経費の30%を限度として、予算の範囲内で補助する。	0.10人	0人	実績	500戸	445戸					執行率が100%となってる事業のため、令和4年度の実績値に近い500戸を目標値としたが価格高騰も影響し、目標値に届かなかった。	
							800千円	0人									
R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合																
		0.14人	0人	①443戸	500戸	443戸											
		1,131千円	0人						R6目標	443戸							
523	産業経済部	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	目標は未達成だが、講演会では質問がでるなど、一部の参加者の反応が良好であり、資材、燃料の高騰の中、農業経営改善に意識がある農業者も一定数いると思われる。今後も農業経営改善に向けて継続していく。	R5年度に改善した点	1 貧困をなくそう		
			重要	自治事務		93千円	70千円										
			認定農業者育成事業	根拠法令		R5予算現額	R5決算額(見込み)	①講演会の開催	認定農業者等講演会における認定農業者の参加人数	R4目標	R4実績					R5目標値が未達成の理由・分析	
				農業経営基盤強化促進法		95千円	71千円										
				事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合										
			期間	H8 ~		認定農業者制度は、「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」に示された農業経営の目標の達成に向けた「経営改善計画」の認定を受けた認定農業者が計画を実現するための方策に対して、重点的に支援措置を講じるもの。	0.16人	0人	実績	50人	28名					所沢市農業後継者協議会、所沢市4Hクラブ、新規就農者、認定農業者、参入法人、農業祭表彰式出席者、合計344名へ通知を発送したが、出席率が低かった。R5年度は「データから考える農業経営」をテーマに開催し、近年は「儲かる農業」、「インターネットを活用した販路拡大」をテーマに設定している。今後も農業経営改善のため経営や販売などについて着目し、経営改善への意識向上につながるように継続していく。	
							1,280千円	0人									
R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合																
		0.16人	0人	①1回	50人	22名											
		1,293千円	0人						R6目標	50人							
523	産業経済部	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標には達しなかったが、若手農業者団体の主体性が発揮でき、イベント自体の参加希望者が従来よりも多く集まったことから、今後の事業運営にとって有益な内容も多くあった。また、農業サポーターの募集について、フライヤーを作成し、市民向けの通知等で周知を行うことで、次年度のサポーター増員に向けた足がかりを作ることができたため。	R5年度に改善した点	2 飢餓をゼロに		
			重要	自治事務		530千円	530千円										
			農業後継者育成確保推進事業	根拠法令		R5予算現額	R5決算額(見込み)	①研修・交流会、イベント開催数 ②農業サポーター人数	研修、交流会、イベントへの参加人数	R4目標	R4実績					R5目標値が未達成の理由・分析	
				所沢市農業振興総合対策要綱 農業後継者育成確保推進事業実施要領		530千円	530千円										
				事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合										
			期間	S58 ~		次代を担う優れた農業後継者及び担い手確保を目的に、所沢市農業後継者対策連絡会の事業の一環として、市内農家へのボランティアによる援農活動を中心とした農業サポーター制度、農産物収穫体験、農業後継者に対する結婚活動イベントなどを実施している。	0.13人	0人	実績	30人	35人					昨年度は、交流会の開催について、若手農業者団体に主体的に開催していただいた。申込段階では、31人が参加する予定であったが、当日のキャンセル等により、目標人数を下回ってしまった。また、例年2回程度開催していたところ、1回しか開催できなかったことも要因といえる。	
							1,040千円	0人									
R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合																
		0.12人	0人	①1回 ②18人	30人	27人											
		970千円	0人						R6目標	30人							

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目		
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	R4目標					R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析
523	産業経済部	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	連携の一環として、所沢市農業委員会委員、所沢市産業振興ビジョン推進会議委員、所沢市人・農地プラン策定検討会委員など各種委員の立場により、同様の知見を提供した。令和4年度から「農のあるまちづくり」の推進を目的とし、東京農工大学の名誉教授を講師とした市民向け家庭菜園教室の実施回数を増やしたため、令和6年度も前年度実績と同様とする。	R5年度に改善した点	2 飢餓をゼロに		
			重要	自治事務		229千円	189千円	①イベント等実施回数	連携・取組みの実施回数	R5目標	R5実績			R5目標値が未達成の理由・分析		令和5年度においては、市民向け講習会の内容を一部変更し、市民がより身近に農にふれあえる内容とし、大学の知的資源を市民に還元している。また、サトイモ点滴灌漑実証実験を、R4年度から大幅に増やし、実験から実際の生産ペースで検証実験を行った。	
			根拠法令	R5予算現額		R5決算額(見込み)	②委員等委嘱数									4 質の高い教育をみんなに	
				-		246千円	176千円										
				事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析						
				国立大学法人東京農工大学の持つ知的資源を活用して、都市農業の重要性を再認識し、農業の担い手の育成・確保や将来の農業経営にかかる問題解決に取り組むとともに、市民に対しては、家庭菜園教室などを通じて「農のあるまちづくり」の推進を図る。また、東京農工大学と本市の若手農業者や先進農家の交流を促すことにより、農業振興を図る。		0.23人	0人	7回	7回	12回							
				期間		1,840千円	0人	①12回	R5目標	R5実績							
				H25 ~		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	②3種	R6目標								
						0.23人	0人		12回								
						1,859千円	0人										
523	農業委員会事務局	農業委員会事務局	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	毎年、成果指標の目標を達成し、目的とする情報提供は果たしている。次年度以降も引き続き事業を継続し、広報の役割を果たせるように努める。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			優先	自治事務		550千円	347千円	①発行回数	配布率(%) (配布戸数÷対象農家戸数)	R4目標	R4実績			R5目標値が未達成の理由・分析		情報を効果的に伝えるため、文字情報に加え、表組・写真等を配置し、読みやすい紙面構成に努めた。また、新規就農者に取材を行うなど、農業者の関心が高いと思われる事柄についての記事を掲載するよう努めた。	
			根拠法令	R5予算現額		R5決算額(見込み)	②配布戸数										
				農業委員会等に関する法律		550千円	481千円										
				事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析						
				農業委員会の活動業務や農業全般についての情報を広く農地所有者及び耕作者に周知するもの。【内容】・営農面積が10アール以上の農地所有者及び耕作者に対し、A4版4ページ構成の情報紙を年2回発行する。・農業委員会の活動や農業者に提供すべき情報、農業振興課等の農業に関する事業や周知すべき事項を掲載。・市ホームページに掲載するとともに市内Jあるま野各支店やまちづくりセンターに配架する。		0.21人	0人	100.0%	100.0%	100.0%							
				期間		1,680千円	0人	①2回	R5目標	R5実績							
				553 ~		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	②1回目2,355戸 2回目2,364戸	R6目標								
						0.22人	0人		100.0%								
						1,778千円	0人										
523	農業委員会事務局	農業委員会事務局	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	毎年、成果指標の目標を達成し、遊休農地は概ね是正されている。次年度以降も引き続き事業を継続し、より一層遊休農地の発生防止・解消に努める。	R5年度に改善した点	2 飢餓をゼロに		
			優先	法定受託事務		131千円	156千円	①遊休農地調査面積	是正率(%) (是正面積÷遊休農地調査面積)	R4目標	R4実績			R5目標値が未達成の理由・分析		遊休農地になりやすい傾向がある市外所有者に、調査の実施前に通知を送付し、維持管理を促した。	
			根拠法令	R5予算現額		R5決算額(見込み)	②是正面積										
				農地法		131千円	151千円										
				事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析						
				市内農地の利用状況を調査し、把握した遊休農地の是正指導を行うもの。【内容】・夏季に農地の利用状況調査を実施・調査の結果、遊休化または遊休化するおそれがあると判断した農地の所有者等に対して、除草や耕作再開等の是正指導を行う。・遊休農地の発生を防止するため、所沢市農地サポート事業による農地の売買や貸借を促進し、新たな担い手への流動化を図る。		0.65人	0人	80.0%	83.4%	80.0%							
				期間		5,201千円	0人	①1,136,438㎡	R5目標	R5実績							
				H11 ~		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	②939,669㎡	R6目標								
						0.67人	0人		80.0%	82.7%							
						5,414千円	0人										

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	R4目標					R4実績
523	農業委員会事務局	農業委員会事務局	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	成果指標の目標を達成し、目的とする農地の流動化は果たしている。次年度以降も引き続き事業を継続し、より一層農地の流動化に努める。	R5年度に改善した点	2 飢餓をゼロに		
			優先	自治事務	0千円	0千円	①売買および貸借成立件数	利用集積農地面積(m)	農地の利用集積が目的であることから、利用集積された農地面積を指標とする。農地の売り渡し・貸し付け希望に対して、買い受け・借り受け希望が少ないことを考慮した目標値とする。	R5目標					R5実績	
			根拠法令	自治事務	R5予算現額	R5決算額(見込み)										②利用集積農地面積
				所沢市農地サポート事業実施要綱	0千円	0千円										
				事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	20,000㎡	27,859.81㎡							
				年々進む高齢化や後継者不足等により、農業従事者が減少していくなか、遊休化または遊休化するおそれのある農地の農業上の利用を確保するため、農業経営規模の縮小意向の農業者と拡大意向の農業者を取り次ぐことにより、農地の有効活用と流動化を図る。	0.11人	0人	①21件	20,000㎡	66,846㎡	R5目標					R5実績	
				【内容】 ・農業経営規模の縮小意向の農業者から売買や貸借を希望する農地情報を把握し、拡大意向の農業者に情報提供を実施する。	880千円	0人										R6目標
期間	H22 ~	0.15人	0人	②66,846㎡	20,000㎡											
		1,212千円														
523	農業委員会事務局	農業委員会事務局	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	毎年、成果指標の目標を達成し、目的とする農地基本台帳の情報整備は果たしている。次年度以降も引き続き事業を継続し、農地情報を適正に管理する。	R5年度に改善した点	2 飢餓をゼロに		
			優先	法定受託事務	2,925千円	1,627千円	①農地等情報移動発生筆数	農地基本台帳システムへの農地等情報移動筆数の入力割合(%) (入力筆数÷農地等情報移動発生筆数)	農地情報の整備が目的であることから、情報の入力割合を指標とし、100%の入力を目標とする。	R5目標					R5実績	
			根拠法令	法定受託事務	R5予算現額	R5決算額(見込み)										②入力筆数
				農業委員会等に関する法律	2,588千円	2,211千円										
				事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	100.0%	100.0%							
				一筆ごとの農地情報を整理し、電子化した農地基本台帳の管理運用を行う。	0.48人	0人	①18,412件	100.0%	100.0%	R5目標					R5実績	
				【内容】 ・農地基本台帳及び農地地図情報システムを導入し、市内の農地情報の管理を行う。 ・農地の権利移動や農地転用等の情報を随時入力し、最新の状態に更新する。	3,841千円	0人										R6目標
期間	H27 ~	0.53人	0人	②18,412件	100.0%											
		4,283千円														
531	産業経済部	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	短編映画を活用した航空発祥の地のPRとフランス航空教育団から始まるフランスとの交流を深めるため、在日フランス商工会議所副会頭などを歴任されたクリスチャン・ボラック氏を講師に迎えた、短編映画上映会・講演会を実施することができた。視聴者数は目標人数にわずかに届かなかったものの、おおむね目的を達成できたものと考えられる。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを		
			-	自治事務	15,000千円	14,996千円	①短編映画の上映会・講演会の開催	視聴者数	映画を視聴していただくことで、航空発祥の地・所沢の認知が増えるとともにフランスとの関係性が伝播していくと考える。	R5目標					R5実績	
			根拠法令	自治事務	R5予算現額	R5決算額(見込み)										②上映会開催によるPR(上映会参加者)
				-	200千円	147千円										
				事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	150人	130人							
				本事業は、日本で初めてできた飛行場跡地に整備されている「所沢航空記念公園」を観光資源として、さらに魅力を高めるため、「短編映画の製作と発信」等による磨き上げを行うことで、アフターコロナを見据えた市内のマイクロツーリズムを推進するとともに、フランス航空教育団を通じた日仏交流の更なる推進を図るものである。	0.66人	0.25人	①1回開催	1,000人	942人	R5目標					R5実績	
				取組としては次のとおりである。 ・フランス航空教育団など、所沢航空記念公園にまつわる歴史を伝える短編映画の製作 ・上記映画による「航空発祥の地 所沢」を子供たちを中心に広く発信	5,281千円	0.15人										R6目標
期間	R4 ~	0.39人	0.15人	②942名	1,000人											
		3,152千円														

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠						
531	産業経済部	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	特産品等販売売上、駐車料金収入等昨年度を下回る収入となったが、目標を達成することができた。	R5年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も	
			最優先	自治事務		119,161千円	111,797千円							①来館者数 ②駐車料金収入 ③特産品販売総売上		管理委託料に対する収入割合
			根拠法令	地方自治法、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の推進に関する法律、所沢市観光情報・物産館条例		R5予算現額	R5決算額(見込み)	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点					
						R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合				R5正規職員人件費			R5その他職員従事割合		R5目標値が未達成の理由・分析
			事業の目的及び具体的な内容	令和3年5月29日に開設した所沢市観光情報・物産館を、本市の観光資源や特産物等の魅力発信拠点として運営し、効果的に活用していく。具体的な取組み内容としては、指定管理者である所沢まちづくり共同事業体とともに、適正かつ円滑に所沢市観光情報・物産館の管理運営及び活用を行っていく。		0.82人	0人	実績	100.0%	166.5%	目標達成済			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		どのように貢献したか
						6,562千円	0人	①約17万人(推計値)	R5目標	R5実績				前年度に比べ特産品販売売上等が下がってしまった。令和6年度は、館内のレイアウト及びカフェメニューの見直しを行い、新たな顧客獲得に繋がるような取り組みを実施する。		特産品の販売、PRを行った。イベント時に所産野菜の特設販売を行った。観光情報を発信し、市内観光業等の支援につながった。
			期間			1.32人	0.08人	②12,801,305円	R6目標					評価者		
			H29 ~			10,667千円	0.08人	③82,812,324円	200.0%					商業観光課長 古田 晃一		
531	産業経済部	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標値を若干下回ったが、総合的に勘案すると市営駐車場としての事業の目的を達成できたと考えられる。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを	
			重要	自治事務		66,270千円	60,848千円							①寿町駐車場使用料収入 ②寿町駐車場実績台数 ③元町地下駐車場実績台数		寿町駐車場の管理委託料に対する使用料収入の割合
			根拠法令	所沢市寿町駐車場条例、所沢市元町地下駐車場条例		R5予算現額	R5決算額(見込み)	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点					
						R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合				R5正規職員人件費			R5その他職員従事割合		R5目標値が未達成の理由・分析
			事業の目的及び具体的な内容	地元商店街への買い物客の利便性を高め、商店街振興を図ることを目的とする。寿町駐車場及び元町地下駐車場の2ヶ所を対象とする。		0.68人	0.10人	実績	112.8%	117.9%	人件費や物価高騰による管理委託料の増額、また令和4年度は工事車両等による需要があったため大幅に使用料が増加したが、令和5年度は例年と同程度の使用料収入となったため。			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		どのように貢献したか
						5,441千円	0.10人	①8,373,660円	R5目標	R5実績				地元商店街利用者の利便性を確保するため、安定的な駐車場の提供が必要である。また、老朽化した東川護岸の改修等寿町駐車場の整備事業を実施する。		駐車場の安定的な管理運営により、地元商店街利用者の利便性を確保している。
			期間			0.38人	0.08人	②53,629台	R6目標					評価者		
			S44 ~			3,071千円	0.08人	③80,681台	100.0%					商業観光課長 古田 晃一		
531	産業経済部	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	来場者数及びイベントへの参加者数が目標値を下回ったため。一方で、各種イベントや展示の実施により事業の目的は達成できたと考えられる。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を	
			重要	自治事務		6,250千円	6,250千円							①自主事業開催回数 ②貸しスペース使用料収入		来場者数及び参加者数
			根拠法令	所沢市中心市街地活性化拠点施設運営要綱		R5予算現額	R5決算額(見込み)	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点					
						R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合				R5正規職員人件費			R5その他職員従事割合		R5目標値が未達成の理由・分析
			事業の目的及び具体的な内容	商業の振興や来街者の増加を図り、中心市街地全体の活性化を目指す。当施設は、市民の交流の場・情報発信の拠点として各種の展示のほか、中心市街地でのイベントの開催も行っている。【中心市街地活性化拠点施設運営事業として、施設の賃借料、光熱水費を所沢商工会議所と分担(所沢商工会議所負担分：1,250千円)】		0.48人	0.05人	実績	23,450人	25,360人	イベントの来場者数がコロナ禍前より減少したため。			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		どのように貢献したか
						3,841千円	0.05人	①7回	R5目標	R5実績				コロナ禍で行っていなかった職員ボランティアの募集を再開し、各種イベントに所属や年齢に囚われず多くの市職員が参加した。		11 住み続けられるまちづくりを
			期間			0.29人	0.05人	②120,000円	R6目標					評価者		
			H16 ~			2,343千円	0.05人		46,900人	46,900人				商業観光課長 古田 晃一		

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目			
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	R4目標					R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	
531	産業経済部	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	縮小開催した令和4年度より来場者数が増え、例年とほぼ同規模のまつりを開催できたため。「安心安全で持続可能なまつり」を重点目的とし、事故なく開催することができた。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を				
			重要	自治事務		4,000千円	4,000千円								①人出	人出	とろろざわまつりに訪れる人出の実績直近で全面開催したH30の実績とした。	
			根拠法令	R5予算現額		R5決算額(見込み)	②パレード参加団体											
			-	-		4,000千円									4,000千円			
			事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	実績								R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	
			所沢の歴史と文化を後世に伝え、人と人のつながりや、商店街の活性化を始め、経済効果を生むとろろざわまつりの開催の支援を目的とする。実行委員会に対し、開催費を商工会議所と分担金として負担するとともに、山事運営委員会、イベント運営委員会の事務局を担当。	0.98人		0.55人												220,000人
			期間	S63 ~		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合								①200,000人	220,000人	200,000人	一部イベントの中止や、開催時間がコロナ禍以前より1時間短縮していることによるものと考えられる。
			-	-		7,842千円	0.25人								②0団体	R6目標	220,000人	
期間	S63 ~	1.02人	0.25人					事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	令和6年9月に所沢駅西口に「エミテラス所沢」が開業を予定しているなど、更なる賑わいが想定されるため、警察等の関係機関・団体と協議し交通対策を実施する必要がある。	市内外からの来場者による地域活性化により、持続可能なまちづくりに貢献できる。							
531	産業経済部	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	所沢市商店街連合会は、市内の多くの商店街が加入し、商店街の振興にとって重要な組織である。商店街振興を図るため、引き続き同会を支援していく。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを				
			重要	自治事務		210千円	210千円								①会員数	商店街連合会加盟商店街の会員数	市内の商店街等で構成される商店街連合会を支援することを目的としていることから、商店街連合会加盟商店街の会員数としている。目標値は前年実績。	
			根拠法令	R5予算現額		R5決算額(見込み)	R4目標											R4実績
			所沢市商工団体補助金交付要綱	210千円		210千円												
			事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	実績								R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	
			市内の商店街等で構成される商店街連合会を支援することにより、本市の商業振興を図るものである。	0.31人		0.01人												1,190事業者
			期間	S59 ~		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合								①1,190事業者	1,190事業者	1,190事業者	目標達成済
			-	-		2,481千円	0.01人								②12,426,751円	R6目標		
期間	S59 ~	0.11人	0.01人					事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	商店街の減少に歯止めをかけるため、活性化に向けた取り組みを検討・実施していく。	商店街連合会を通して各商店街に関わる情報の提供を行った。							
期間	S59 ~	889千円						事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	商店街の減少に歯止めをかけるため、活性化に向けた取り組みを検討・実施していく。	商店街連合会を通して各商店街に関わる情報の提供を行った。							
531	産業経済部	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	商店街の会員数は後継者の不足に加え、商店街エリアに新規出店した店が商店街に加入しないことなどにより減少傾向にある。補助金交付業務については効率的な事務運営を行っており、今後も同様の効果をあげていきたい。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを				
			優先	自治事務		33,899千円	21,190千円								①補助事業件数	商店街加盟店舗数	令和元年度以降は、商店街加盟店舗数を評価指標とし、既存店舗の支援及び空き店舗の解消を進める。	
			根拠法令	R5予算現額		R5決算額(見込み)	②補助金交付額											
			所沢市魅力ある商店街創出支援事業補助金交付要綱	30,000千円		19,801千円												
			事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	実績								R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	
			市内の商店街の振興と活性化を目的とし、補助金交付を行う。 ・共同施設整備事業 補助率：1/3以内 ・共同事業 補助率：事業内容により1/2、2/5、1/3以内 ・街路灯電気料 補助率：1/2(千円未満切り捨て)	0.98人		0.30人												1327店舗(加盟店舗数)
			期間	S57 ~		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合								①113件	1325店舗(加盟店舗数)	1318店舗(加盟店舗数)	後継者不足や商店街未加入者の増加の影響等により各商店街の会員数が減少しているため。
			-	-		7,842千円	0.30人								②19,801,000円	R6目標		
期間	S57 ~	0.69人	0.30人					事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	商店街は、地域の賑わいの拠点であるとともに、地域住民の重要な社会資源である。引き続き、市の補助制度が商店街の活力の向上に資するよう、魅力ある商店街づくりの支援を行っていく。	各商店街の魅力ある商店街づくりに繋がる事業に対して補助制度を通して支援した。							
期間	S57 ~	5,576千円						事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	商店街は、地域の賑わいの拠点であるとともに、地域住民の重要な社会資源である。引き続き、市の補助制度が商店街の活力の向上に資するよう、魅力ある商店街づくりの支援を行っていく。	各商店街の魅力ある商店街づくりに繋がる事業に対して補助制度を通して支援した。							

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目			
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠								
531	産業経済部	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①本補助金活用店舗数	本補助金活用店舗数	予算額2,400千円(1事業限度1200千円×2店舗)	A	当該事業は年々周知されており、相談件数も増加傾向にある。引き続き事業を実施していきたい。	R5年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も				
			重要	自治事務		2,400千円	1,863千円						R5予算現額		R5決算額(見込み)	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析
			根拠法令	所沢市空き店舗活用・新規創業支援出店補助金交付要綱		2,400千円	2,200千円											
			事業の目的及び具体的な内容	新規創業者を支援して商業や商店街等の活性化を図るため、空き店舗の活用事業を始める者に、事業開始に必要な初期経費について補助する。市内商店街の空き店舗を利用し、にぎわいを創出する出店者を募集し、補助金を交付する。・補助金額 経費の1/3以内(限度額120万円)		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合						実績		2店舗	2店舗	R5目標	R5実績
			0.36人	0.01人														
			期間	H24 ~		2,881千円	0人						①2店舗		2店舗	2店舗	R6目標	2店舗
			0.37人	0人		2,990千円												
			評価者	商業観光課長 古田 晃一		どのよう貢献したか							商店街で新規創業する人が継続して現れるよう、ニーズに応じた事業内容を検討する。		本事業を通して、空き店舗を解消し商店街の活性化に貢献した。			
商業観光課長 古田 晃一	どのよう貢献したか		商店街で新規創業する人が継続して現れるよう、ニーズに応じた事業内容を検討する。	本事業を通して、空き店舗を解消し商店街の活性化に貢献した。														
531	産業経済部	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①トイレ清掃回数(狭山湖・トトロの森観光トイレ) ②桜並木ライトアップ日数 ③狭山湖利用駐車場利用台数	観光入込客数	平成30年度から目標値を見直し。令和2年度までは660万人としてその後は、毎年30万人増加を目指す。	A	既存の観光資源の魅力を高める取り組みや、新たな観光資源の創出・発掘の取組みを積極的に行った。引き続き多くの方に所沢市を訪れ、楽しんでもらえるよう関係機関とも連携しながら、所沢市の魅力向上に努めていく。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を				
			重要	自治事務		10,331千円	9,980千円						R5予算現額		R5決算額(見込み)	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析
			根拠法令	観光立国推進基本法		10,200千円	9,986千円											
			事業の目的及び具体的な内容	市内の観光スポットの魅力を維持し、より発展させると共に、観光客の利便性を高めることを目的としている。具体的内容は次のとおり。・狭山湖駐車場修繕・航空記念公園展示用輸送機維持管理・東川桜並木ライトアップ		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合						実績		7,200,000人	7,445,732人	R5目標	R5実績
			0.73人	0人														
			期間	H7 ~		5,841千円	0人						①409回 ②14日 ③61,219台		7,500,000人	集計中	R6目標	7,800,000人
			0.44人	0人		3,556千円												
			評価者	商業観光課長 古田 晃一		どのよう貢献したか							平成29年度に設置したトトロの森観光トイレ(仮設トイレ)の交換が必要である。		各観光資源の魅力向上に努めた。			
商業観光課長 古田 晃一	どのよう貢献したか		平成29年度に設置したトトロの森観光トイレ(仮設トイレ)の交換が必要である。	各観光資源の魅力向上に努めた。														
531	産業経済部	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①共同事業への参加回数	狭山丘陵関連プロモーション件数	武蔵村山市、東村山市、東大和市、所沢市、入間市、瑞穂町の5市1町等で共同した狭山丘陵全体の魅力発信のための事業への参加や情報発信等の件数とした。	C	イベント参加回数は減少しているが、引き続き狭山丘陵の魅了発信に努める。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを				
			重要	自治事務		90千円	0千円						R5予算現額		R5決算額(見込み)	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析
			根拠法令	観光立国推進基本法		60千円	0千円											
			事業の目的及び具体的な内容	武蔵村山市、東村山市、東大和市、所沢市、入間市、瑞穂町の5市1町で共同して狭山丘陵全体の魅力発信のための事業を行う。		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合						実績		6件	5件	R5目標	R5実績
			0.16人	0人														
			期間	H30 ~		1,280千円	0人						①1回		6件	2件	R6目標	6件
			0.24人	0人		1,939千円												
			評価者	商業観光課長 古田 晃一		どのよう貢献したか							狭山丘陵観光関連団体でのイベント実施が縮小しているため、未達成となっている。		狭山丘陵全体の魅力発信が県をまたいで実施された場合には、市内外からの来場者による地域活性化により、持続可能なまちづくりに貢献できる。			
商業観光課長 古田 晃一	どのよう貢献したか		狭山丘陵観光関連団体でのイベント実施が縮小しているため、未達成となっている。	狭山丘陵全体の魅力発信が県をまたいで実施された場合には、市内外からの来場者による地域活性化により、持続可能なまちづくりに貢献できる。														

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)				
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目			
531	産業経済部	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠			A	目標件数には達したが、満額には達しなかったため。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを			
			最優先	自治事務	0千円	0千円	①補助事業件数 ②補助金交付金額	本補助金活用件数	予算額2,000千円 (1事業限度額200千円×10件)					補助金審査委員会の指摘を受けて補助に対して回数の上限や条件を設定することし要綱を改訂した。				
			根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)	1,600千円										1,513千円		
			にぎわいitこ創出支援事業	にぎわいitこ創出支援事業補助金交付要綱	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.00人	0人	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析							
				事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	0千円	0人	実績	-	-					R5目標値が未達成の理由・分析		
				本事業は地域の特性を生かした人を中心にしたにぎわい拠点の創出、活性化に向けた事業を行うものに対し、事業費の一部を補助するものである。 市内のさまざまな観光拠点を繋ぐ公共交通等の利用を推進することで、マイカー移動では生まれなかった街中から市内全域に広がる新たな人流を作り、そこから発生する出会いやにぎわいによってまちの魅力向上を図る。	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	0.36人	0人	①8件	8件	8件					目標達成済		
			期間		0千円	0人	0千円	0人	②1,513,000円	R6目標								事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
R5 ~		2,909千円	0人	2,909千円	0人		10件				更なるにぎわい拠点の充実のため広くPR活動を行っていく。	どのように貢献したか						
											評価者	どのように貢献したか						
											商業観光課長 古田 晃一	どのように貢献したか						
531	産業経済部	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠			A	No.4東川さくらおさんぽコース(わき道コースを含む)に道標を設置し、市内を歩きやすく、歩きたくするような環境を整備することができた。また、狭山ヶ丘駅西口の観光案内板を多言語表示にすることで、インバウンド対応を行った。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを			
			最優先	自治事務	0千円	0千円	①道標設置コース数 ②道標設置・更新数	観光入込客数	平成30年度から目標値を見直した。令和2年度までは660万人としてその後は、毎年30万人増加を目指す。					道標にQRコードを表示し、スマートフォンで読み取ることにより、市HPのおさんぽコースや観光スポット紹介ページとリンクさせ、歩きながら観光情報を得られるようにした。				
			根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)	7,800千円										7,100千円		
			観光立国推進基本法	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.00人	0人	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析								
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	0千円	0人	実績	7,200,000人	7,445,732人	R5目標値が未達成の理由・分析							
			市内外からの観光客の増加を図るため、市内の観光スポット等の場所や経路を示す道標や観光案内板等を整備する。 市内を歩きやすく、また、歩きたくするように、「まち」×「みどり」のおさんぽコース上の道標やコース全体を示す観光案内板等を中心とした整備を行い、一層の充実を図る。	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	0.73人	0.08人	①1コース(本コース、わき道コース)	7,500,000人	集計中	目標達成済							
			期間		0千円	0.08人	0千円	0.08人	②30基(本コース16基、わき道コース14基)	R6目標								事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
R5 ~		5,899千円	0.08人	5,899千円	0.08人		7,800,000人				道標設置が観光客増加につながることを検証する方法がないため、今後は何らかの方法を考案する必要がある。	どのように貢献したか						
											評価者	どのように貢献したか						
											商業観光課長 古田 晃一	どのように貢献したか						
531	産業経済部	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠			A	障害のある方や要介護高齢者、妊産婦の方など歩行が困難な方や移動の際に配慮が必要な方のための車室を確保し、利用者の利便性を確保するため。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを			
			優先	自治事務	0千円	0千円	①設計委託料予算額 ②設計委託料決算額	車椅子利用者用車室及び優先車室の設置	障害のある方や要介護高齢者、妊産婦の方など歩行が困難な方や移動の際に配慮が必要な方のための車室を確保し、利用者の利便性を確保するため。					利用者アンケートにより、「駐車スペースの幅員が狭く利用しづらい」という要望が多く寄せられているため、駐車スペースの幅員を広げる設計とした。				
			根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)	5,500千円										5,170千円		
			所沢市寿町駐車場条例	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.00人	0人	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析								
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	0千円	0人	実績	-	-	R5目標値が未達成の理由・分析							
			所沢市寿町駐車場の東川護岸等の老朽化が著しいため、整備を実施するもの。	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	0千円	0人	①5,500,000円	0車室	0車室	令和5年度は設計段階で、車椅子利用者用車室及び優先車室の設置ができないため0車室となっている。							
			令和5年度：設計 令和6年度：着工(湧水期の11月以降を予定) 令和7年度：竣工(5月頃を予定)	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	0.29人	0.01人	②5,170,000円	R6目標								事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
期間		0千円	0.01人	0千円	0.01人						車いす対応駐車スペース、優先駐車スペースを新たに設置することで、利便性を向上させる。	どのように貢献したか						
R5 ~		2,343千円	0.01人	2,343千円	0.01人		2車室				地元商店街利用者の利便性を確保している。	どのように貢献したか						
											評価者	どのように貢献したか						
											商業観光課長 古田 晃一	どのように貢献したか						

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)						
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目							
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	R4目標					R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析					
532	産業経済部	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	他自治体と連携したイベント等へ参加した回数 観光客の回遊性を高めるためには、広域的な連携による取り組みが効果的なため。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を								
			重要	自治事務		0千円	0千円								①シェアサイクル利用者数 ②シェアサイクルステーション数 ③広域連携による観光プロモーション数	R4実績	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析				
			根拠法令			R5予算現額	R5決算額(見込み)												0千円	0千円		
						R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合								0.47人	0.23人	実績	24回	14回	R5目標	R5実績	
						3,761千円	0.23人								0.25人	0.10人						
			事業の目的及び具体的な内容			R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合								0.25人	0.10人	①29,641人	20回	14回	新規のイベント開催が少なかったため、参加回数を増やすことが出来なかった。	R6目標	R6実績
			本市を訪れる観光客の市内及び近隣自治体への回遊性を高めるため、市内の様々な魅力あるスポットをつなぐ方策について検討し、広域連携の取組みを活かして回遊性の向上を図る。 具体的な取組み内容 ①シェアサイクルの導入 ②広域連携による回遊性向上に向けた事業の検討			0.25人	0.10人								②85か所	14回						
期間		2,020千円		③14回																		
R2 ~																						
533	産業経済部	産業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	目標値に対して100%以上の成果が出たため。	R5年度に改善した点	9 産業と技術革新の基盤を作ろう								
			優先	自治事務		3,075千円	2,821千円								①認定商品申請件数 ②認定商品選定件数 ③販売協力店舗数(認定者自店舗含む)	R4実績	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析				
			根拠法令			R5予算現額	R5決算額(見込み)												2,928千円	2,498千円		
						R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合								0.83人	0.45人	実績	①5件 ②5店舗	①5件 ②7店舗	R5目標	R5実績	
			事業の目的及び具体的な内容			6,642千円	0.45人								①9件	70回						80回
			平成29年度より実施している本事業は、「ところざわサクラタウン」の完成や東京オリンピック・パラリンピック開催等の好機を見据え、所沢を象徴する物産を訪日外国人客を含めた市内外に販売できるよう、地場農産物等を活かした特産品の創出を支援することを目的とする。今後においても、地域経済の活性化や所沢ブランドの創造を図り、「所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」重点プロジェクトに位置付けられた「COOL JAPAN FOREST構想」の推進に資していくものである。			0.83人	0.45人								②2件	R6目標	70回					
			期間			6,707千円	0.45人								③2店舗							
H29 ~																						
533	産業経済部	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	月3回開催を予定し、夏季の7・8月や、参加者がいない場合、台風で中止した場合を除き、27回開催し、目標の25回を上回った。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を								
			重要	自治事務		500千円	500千円								①クアオルト健康ウォーキングの実施回数 ②参加人数	R4実績	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析				
			根拠法令			R5予算現額	R5決算額(見込み)												500千円	500千円		
						R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合								0.55人	0.05人	実績	20回	23回	R5目標	R5実績	
			事業の目的及び具体的な内容			4,401千円	0.05人								①個人26回/法人1回 ②個人138人/法人17人	R6目標						27回
			埼玉県・所沢市ヘルスツーリズム協議会補助金交付要綱			0.50人	0.20人															
			埼玉県ヘルスツーリズム産業創出支援事業の一環として、クアオルト健康ウォーキングを活用した観光振興を実施するに当たり、関係団体と構成する「埼玉県・所沢市ヘルスツーリズム協議会」の運営が、円滑かつ効果的になされるよう支援を行う。			4,041千円	0.20人															
期間																						
H31 ~																						

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)																
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目																	
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠																						
533	産業経済部	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①協定に基づく埼玉西武ライオンズとの協働事業の実施回数	協定に基づく埼玉西武ライオンズとの協働事業の実施回数	地域社会の発展や地域福祉の向上などに寄与することを目的として、平成27年3月に「所沢市と株式会社西武ライオンズとの連携協定に関する基本協定」(フレンドリーシティ)を締結している。	R4実績	R5実績	R5目標値が未達成の理由・分析	A	R4実績が目標を大幅に上回ったため、R5目標を18回に設定したが、実績が20回と目標を上回った。また、フレンドリーシティ感謝デー等のイベントにて当市のPRを図ることができた。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を															
			重要	自治事務		0千円	0千円									R5予算現額		R5決算額(見込み)	R4目標	R4実績	R5目標	R5実績	市とチームがより一体になって戦うという意思表示・機運を高めることを目的に、市職員によるコラボポロシャツの着用に向けてライオンズと協議した。									
			根拠法令	事業の目的及び具体的な内容		R5予算現額	R5決算額(見込み)									①20回		10回	16回	18回	20回	目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み									
			ブランド価値の向上事業	プロスポーツをはじめとする観光資源を積極的に取り上げ、本市ならではのブランド価値を高める”ふるさと所沢”への愛着や誇りを醸成していく。		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合									実績		10回	16回	R6目標			どのように貢献したか									
			期間	H17 ~		0.55人	0.07人									4,401千円		0.28人	0.15人	2,263千円	22回			協働事業の一環として、試合への無料招待などを実施した。								
			重要	自治事務		11,250千円	2,262千円									R5予算現額		R5決算額(見込み)	①研修会等の参加・開催の取組件数	本事業を活用した取組の実施件数	本事業はさといもの安定した生産と品質向上を目的としているため、事業を活用した取組の実施件数を指標とする。目標値としては、前年度の実績を基本とし、向上を目指す数値を設定する。	R4実績	R5実績	R5目標値が未達成の理由・分析	C	より一層の周知にも関わらず、活用件数が少なかったが、スマート農業技術を活用した農業者からは今後も活用を進めていきたいといった意向も伺っていることから、一定の効果はあったと捉える。	R5年度に改善した点	2 飢餓をゼロに				
			根拠法令	事業の目的及び具体的な内容		R5予算現額	R5決算額(見込み)									②スマート農業(ドローン等)活用の取組件数		R4目標	R4実績								R5目標		R5実績	市広報紙(2回)・HPへの掲載及びほっとメール発信(3回)のほか、農業者への調査等に同封、JAにチラシ配架など実施した。		
			所沢産さといも元気掘り起こし事業費補助金交付要綱	全国でもトップレベルの生産量と品質を誇る、本市のブランド品であるさといもの安定した生産と品質向上を目指すため、農業者等が取り組む事業の経費に対して補助を行う。		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合									実績		460件	162件								R6目標				15 陸の豊かさを守ろう	
			所沢産さといも元気掘り起こし事業	全国でもトップレベルの生産量と品質を誇る、本市のブランド品であるさといもの安定した生産と品質向上を目指すため、農業者等が取り組む事業の経費に対して補助を行う。		0.57人	0人									4,561千円		0.36人	0人								2,909千円		①0件	267件	96件	どのように貢献したか
			期間	R4 ~ R6		0.36人	0人									0.36人		0人	0人								2,909千円		②3件	R6目標		スマート農業(ドローン)の活用について、農業者からさといも以外の農産物で利用したいとの声があることから、検討を進める。
重要	自治事務	7,000千円	1,822千円	R5予算現額	R5決算額(見込み)	③資材、薬剤等の購入に関する取組件数	R4目標	R4実績	R5目標	R5実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み																					
事業の目的及び具体的な内容	全国でもトップレベルの生産量と品質を誇る、本市のブランド品であるさといもの安定した生産と品質向上を目指すため、農業者等が取り組む事業の経費に対して補助を行う。	0.57人	0人	4,561千円	0.36人	0人	2,909千円	③93件	100件		どのように貢献したか																					
期間	R4 ~ R6	0.36人	0人	0.36人	0人	0人	2,909千円	③93件	100件		スマート農業(ドローン)の活用が進んだ																					
重要	自治事務	1,211千円	1,185千円	R5予算現額	R5決算額(見込み)	①設置台数	茶香炉利用イベント数	狭山茶の香りを通じて所沢の主要農産物である狭山茶の魅力を感じていただくために実施している事業であるため、人が多く集うイベント時での利用回数を指標とした。	R4実績	R5実績	R5目標値が未達成の理由・分析	S	目標としていた茶香炉利用イベント数を達成しており、活用が進められた。また、外部事業者等にも活用していただけるよう、制度を整備し、日本光電の受付2か所でも茶香炉を設置した。どちらでも評判がよく、狭山茶の普及啓発に効果的であったと考える。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを																	
根拠法令	事業の目的及び具体的な内容	R5予算現額	R5決算額(見込み)	②組織内貸出所属数	R4目標	R4実績								R5目標		R5実績	・庁舎内の1~2階で輪番設置を実施した。 ・公的機関以外でも設置できるように制度設計を見直した。															
香(こう)感度アップ!狭山茶PR事業	狭山茶の香りを楽しむことができる茶香炉(お茶の香り出し器)を市内の公共施設に設置するとともに、各種イベントで活用することで、香りを通じて所沢の主要農産物である狭山茶の魅力を感じていただくために実施するもの。	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	10件	18件								R6目標				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み														
期間	R4 ~	0.57人	0人	4,561千円	0.31人	0人								2,505千円		①11台	20件	24件	どのように貢献したか													
重要	自治事務	330千円	180千円	R5予算現額	R5決算額(見込み)	③外部貸出数								R4目標		R4実績	R5目標	R5実績	茶香炉を借りた事業者から購入希望・常設希望があるが、製造メーカーが他自治体にあるため、地域経済の活性化につなげるのが難しい。 →所沢市で茶香炉の開発の可能性を探る。													
事業の目的及び具体的な内容	狭山茶の香りを楽しむことができる茶香炉(お茶の香り出し器)を市内の公共施設に設置するとともに、各種イベントで活用することで、香りを通じて所沢の主要農産物である狭山茶の魅力を感じていただくために実施するもの。	0.57人	0人	4,561千円	0.31人	0人								2,505千円		②20所属	R6目標		商品として利用できない茶葉を有効に活用した。													
期間	R4 ~	0.31人	0人	0.31人	0人	0人								2,505千円		③2件	20件															
重要	自治事務	1,211千円	1,185千円	R5予算現額	R5決算額(見込み)	③外部貸出数								R4目標		R4実績	R5目標	R5実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み													
事業の目的及び具体的な内容	狭山茶の香りを楽しむことができる茶香炉(お茶の香り出し器)を市内の公共施設に設置するとともに、各種イベントで活用することで、香りを通じて所沢の主要農産物である狭山茶の魅力を感じていただくために実施するもの。	0.57人	0人	4,561千円	0.31人	0人								2,505千円		②20所属	R6目標															
期間	R4 ~	0.31人	0人	0.31人	0人	0人								2,505千円		③2件	20件															

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
					会計	投入コスト		活動実績(R5)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
						R4予算現額	R4決算額		項目名	指標名					目標設定の考え方・根拠
533	産業経済部	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	S	天候にも恵まれ、売り上げ実績を達成できた。特に、2日目の早い時間帯で準備していた商品を売り切る団体もあり、全体を通して売れ行きが好調であった。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを	
			重要	自治事務		500千円	500千円								①農業祭イベントの開催 ②農業祭実行委員会開催回数
			根拠法令			R5予算現額	R5決算額(見込み)	③共進会、品評会の実施	R4目標	R4実績					
						500千円	500千円								R4正規職員人件費
				事業の目的及び具体的な内容		0.48人	0人	実績	4,500千円	4,546千円					
				販売会を通じて、生産者自らが販売することで、都市住民とのふれあいの機会を設ける。農業者は各種共進会や品評会において、生産技術の向上を図る。農業祭を実施するにあたり、農業団体代表が農業祭実行委員会を組織する。農業祭では、各々団体が出店や展示等を行い、各種共進会、品評会並びに即売会を開催する。農業祭開催の支援を通じて、都市住民との交流を深め、地産地消事業を推進する。		3,841千円	0人								R5正規職員人件費
			期間			0.40人	0人	①10/28.29に開催 ②3回開催	4,500千円	5,829千円					
553 ~		3,232千円	0人	③4団体で実施(植木生産組合、園芸協会、茶業協会、農業後継者協議会)	5,000千円										
533	産業経済部	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	S	豊島区メトロポリタンプラザビルでの新茶販売会をはじめ、中央区勝どきのマルシェや練馬区で開催された全国都市農業フェスティバルなど市外でのイベントを活用し所沢農産物のブランド化を推進した。	R5年度に改善した点	1 貧困をなくそう	
			重要	自治事務		844千円	671千円								①体験学習型所沢農産物PR事業親子収穫体験参加者
			根拠法令			R5予算現額	R5決算額(見込み)	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析					
						805千円	774千円								R4正規職員人件費
				事業の目的及び具体的な内容		0.63人	0人	実績	20組(40名)	17組(34名)					
				消費者意識の多様化、品質志向等への変化が生じている中で、市内で生産された安全・安心、新鮮な農産物について、所沢産農産物としてブランド化を推進するため、市内のみならず市外の消費者に向けてPRするとともに、販路拡大を支援していくものである。オリジナルデザインシールの作成及び配布、体験学習型所沢農産物PR事業の開催、市内外でのPR活動、長野県上田市との産業交流による所沢農産物PR		5,041千円	0人								①20組 40名
			期間			0.31人	0人	20組(40名)	20組(40名)	20組(40名)					
H31 ~		2,505千円	0人	20組(40名)											
534	産業経済部	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	台北国際旅行博への出展、台湾現地旅行会社へのPRを行った。また、観光案内版の設置、外国人観光客受入体制を整備するとともに、都内観光案内所やホテル等でのパンフレット配架でのPR、外国人観光客のニーズを把握するため、アンケート調査を行った。	R5年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も	
			優先	自治事務		4,753千円	3,867千円								①WEB記事のPV数(台湾向け) ②台北国際旅行博でのアンケート回収数
			根拠法令			R5予算現額	R5決算額(見込み)	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析					
						7,756千円	7,436千円								R4正規職員人件費
				事業の目的及び具体的な内容		0.85人	0人	実績	5,500人	11,900人					
				新型コロナウイルス感染症の収束後に想定される観光需要の回復を捉え、本市のにぎわいを創出し、まちの魅力高めるため「ところざわサクラタウン」や「西武園ゆうえんち」等を目的に来日する外国人観光客及び市外からの来訪者を対象に、豊かな自然や歴史等の地域資源について情報発信するとともに、市内における外国人観光客の受入体制整備を行う。具体的な取り組み内容 ①台北国際旅行博への出展 ②WEB記事(台湾向け)の掲載 ③台湾現地旅行会社とのネットワークづくり ④観光案内板(狭山ヶ丘駅西口)の設置		6,802千円	0.08人								①307,564PV ②363人 ③20回
			期間			1.27人	0.08人	5,600人	13,098人	5,700人					
H30 ~		10,263千円	0.08人												

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)						
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目							
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	R4目標					R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析					
534	産業経済部	商業観光課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	トコロんの着ぐるみは年間を通して多くの貸出があり、市内外のイベント等に数多く出演することで所沢市のPRに貢献した。ロケーションサービスについては映画、ドラマ、CM、バラエティー番組等の撮影を市内で実施し、知名度の高い番組に登場したことで、全国に所沢市をPRすることができた。観光大使については、本市出身の北勝富士岡が大相撲7月場所優勝争いに絡む活躍をしたほか、JAY'S GARDENが市民フェスティバルや12月議会の議場ライブに出演し、会場を盛り上げることができた。	R5年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も								
			重要	自治事務		5,243千円	4,676千円								①トコロん着ぐるみ貸出回数	観光入込客数	平成30年度から目標値を見直した。令和2年度までは660万人としてその後は、毎年30万人増加を目指す。	11 住み続けられるまちづくりを				
			根拠法令			R5予算現額	R5決算額(見込み)								②ロケ実施回数							
			効果的な観光客誘致プロモーションの推進事業	事業の目的及び具体的な内容		6,099千円	4,418千円								③市主催観光大使出演回数							
			期間			R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合								R4実績				R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析		
			H3 ~			0.93人	0.40人								実績				7,200,000人	7,445,732人		
						7,442千円									①157回				R5目標	R5実績	目標達成済	
		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	②20回	7,500,000人	集計中																
		0.63人	0.40人	③2回	R6目標																	
		5,091千円			7,800,000人																	
541	産業経済部	産業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	人材確保に対する支援策の要望はあるものの、紹介事業者数の増加につなげられていないため。	R5年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も								
			重要	自治事務		152千円	121千円								①市ホームページ等で紹介した事業者数(累計)	市ホームページ等で紹介した事業者数(累計)	市内中小企業の優れた技術・サービスをPRすることにより、市内事業者の人材確保に資することを目的とする。	9 産業と技術革新の基盤を作ろう				
			根拠法令			R5予算現額	R5決算額(見込み)								②OPEN FACTORYへの参加企業数							
			産業人材確保推進事業	事業の目的及び具体的な内容		301千円	180千円								R4正規職員人件費				R4その他職員従事割合	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析
			期間			0.62人	0人								実績				50者	17者		
			H31 ~			4,961千円									①18者				R5目標	R5実績	市ホームページでの事業者紹介については、HPをはじめ、広報やDM発送で周知するとともに、企業訪問時にも制度の活用を案内するなどの活動を行ったが、申請数が伸び悩んだため、目標を達成できなかった。	
						R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合								②9社				25者	18者		
		0.65人	0人		R6目標																	
		5,253千円			30者																	
541	農業委員会事務局	農業委員会事務局	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	S	戸別訪問等推進活動により、成果指標の目標を達成し、農業者年金の加入推進を果たしている。次年度以降も引き続き事業を継続し、制度の周知を図り加入推進に努める。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を								
			優先	自治事務		33千円	4千円								①加入推進戸別訪問	加入推進活動実施世帯数(世帯)	農業者年金を知らない農家のないよう、戸別訪問等による加入推進活動を実施した世帯数を目標指標とする。	9 産業と技術革新の基盤を作ろう				
			根拠法令			R5予算現額	R5決算額(見込み)								②新規加入者数							
			農業者年金基金法	事業の目的及び具体的な内容		40千円	10千円								R4正規職員人件費				R4その他職員従事割合	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析
			期間			0.30人	0人								実績				5世帯	12世帯		
			S45 ~			2,401千円									①2人				R5目標	R5実績	目標達成済	
						R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合								②1人				5世帯	17世帯		
		0.28人	0人		R6目標																	
		2,263千円			5世帯																	

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)											
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目											
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠																
542	産業経済部	産業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	オンライン化の推進で、面接会を利用しなくても就職が決まりやすくなっているが、求職者と求人側担当者が直接対面できる面接会の必要性を実感している。	R5年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も											
			重要	自治事務		20千円	20千円							①就職面接会の実施回数 ②就職面接会への参加者数 ③就職面接会への若年者の参加者数		就職面接会への若年者の参加者数	所沢市就労チャレンジ支援事業運営協議会の協議により決定する。 構成員 ・所沢市長 ・連合埼玉西部第四地域協議会 事務局長 ・所沢地区雇用対策協議会 会長 ・所沢公共職業安定所 所長 ・所沢市産業経済部長	R5年度に改善した点								
			根拠法令			R5予算現額	R5決算額(見込み)											20千円	20千円	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析				
				事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合							0.17人		0人	実績	80人	65人	R5目標値が未達成の理由・分析						
				厚生労働省埼玉労働局と若年者を対象とした就労の援助や支援として、就職面接会を実施している。										1,360千円		0人		R5目標	R5実績							
			期間											0.22人		0人	①3回 ②251人 ③115人	R6目標								
			H23 ~											1,778千円		0人	80人									
			542	産業経済部		産業振興課	実施計画ランク							事業の種類別		一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	技能功労者を表彰しその功績をたたえることは、技能尊重の気運を高めるとともに、技能者の励みになるものであり意義は大きい。また、障害者雇用優良事業所の表彰は障害者雇用の促進や職業安定につながる啓発効果があり、両事業ともに今後も引き続き実施していく。	R5年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も
							重要							自治事務			167千円	73千円							①技能功労者表彰者数 ②障害者雇用表彰事業所数	
根拠法令		R5予算現額			R5決算額(見込み)		163千円	47千円	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析															
	事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費			R4その他職員従事割合		0.23人	0人	実績	6件	6件	R5目標値が未達成の理由・分析														
	技能者の勤労意欲及び資質の向上を図り、技能尊重の機運を高めるとともに、市内事業所における障害者雇用の促進を図ることを目的とし、技能功労者及び障害者雇用優良事業所を表彰するもの。						1,840千円	0人		R5目標	R5実績															
期間							0.20人	0人	①3人 ②1事業所	R6目標																
S54 ~							1,616千円	0人	6件																	
542	産業経済部	産業振興課			実施計画ランク		事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B		障害者の雇用の場の確保のため、補助制度を利用し雇用した障害者数を目標値とした。	R5年度に改善した点							8 働きがいも経済成長も	
					重要		自治事務		750千円	100千円								①補助制度利用事業所数 ②補助制度利用件数								
			根拠法令		R5予算現額	R5決算額(見込み)	550千円		0千円	R4目標						R4実績			R5目標値が未達成の理由・分析							
				事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.09人		0人	実績						3人		1人	R5目標値が未達成の理由・分析							
				障害者の雇用の場の確保と事業者の社会的責任の向上を促し、共生社会の実現に資することを目的に、市内事業者が、障害者を雇用する場合等に要する経費に対し、補助金(事業補助金・雇用助成金・職場実習奨励金)を交付するもの。			720千円		0人							R5目標		R5実績								
			期間				0.09人		0人	①なし ②0件						R6目標										
			H25 ~				727千円		0人	3人																

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	R4目標					R4実績
542	産業経済部	産業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	令和5年度より講座の内容を日商PC検定取得を目指すための対策講座へ切り替えを行ない、成果指標の目標は達成できなかったが、多くの受講者が検定試験に合格し資格を取得していることから一定の成果が挙げられていると考えられる。	R5年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も		
			重要	自治事務	924千円	924千円	①講座開催回数	受講率	受講人数/定員(100名)×100 可能な限り多くの方が受講できるよう、受講率を目標値とした。	R5年度に改善した点						
			根拠法令		R5予算現額	R5決算額(見込み)				②講座受講人数			R4目標		R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析
					960千円	960千円	実績	95.0%	99.0%	R5目標			R5実績		令和5年度より講座の内容を受講者の就職支援やキャリアアップに資するよう、日商PC検定取得を目指すための対策講座へ切り替えを行なったが、講座内容、開催時期、開催場所等の変更を伴ったことから周知が行き届かなかったと考えている。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合				R4目標			R4実績		R5目標値が未達成の理由・分析	
					0.59人	0.05人	①4回(2J-ス・前後期)	95.0%	64.0%	R5目標			R5実績		令和5年度より講座の内容を受講者の就職支援やキャリアアップに資するよう、日商PC検定取得を目指すための対策講座へ切り替えを行なったが、講座内容、開催時期、開催場所等の変更を伴ったことから周知が行き届かなかったと考えている。	どのよう貢献したか
			就業希望者の就職支援及び中小企業勤労者等のキャリアアップを目的とした日商PC検定対策講座を開催する。 なお、ハローワークにおいて一定期間内に求職活動をしている失業者については、求職活動証明書提出により、受講料6,000円を3,000円に一部減免する取扱いを行う。		4,721千円	0.05人				R6目標						
			期間		0.15人	0.05人	②64人(定員100名)	95.0%		R6目標						評価者
H12 ~		1,212千円	0.05人	R6実績						産業振興課長 奈良 和子						
542	産業経済部	産業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	市内中小企業の勤労者とその事業主の福祉の向上のため、当センターの必要性は高いが、会員事業所からの会費のみで運営することは困難なため、今後も継続した支援が必要である。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			重要	自治事務	10,004千円	10,000千円	①会員数	会員数	事業のスケールメリットを活かすために、会員数の増加を目指す。	R5年度に改善した点						
			根拠法令		R5予算現額	R5決算額(見込み)				②会員事業所数			R4目標		R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析
					10,004千円	10,000千円	③利用者一人あたり利用額	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析						事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	1,150人	1,000人	R5目標			R5実績		事業主の高齢化による廃業などにより、脱退する事業所が増えていること、また、業績が悪化している事業者による退会が増えているため。	どのよう貢献したか
			市内中小企業勤労者等の福利厚生充実と発展を目的に、所沢市中小企業勤労者福祉サービスセンターに対して補助金の交付を行う。		0.09人	0人				R6目標						
					720千円	0人	①943人	1,100人	943人	R6目標						評価者
			(センターにおける実施事業) ○調査研究事業 ○研究会・講習会等の開催事業 ○情報提供事業 ○福利厚生事業 ほか		0.12人	0人				R6実績						産業振興課長 奈良 和子
期間		0.12人	0人	②329事業所	1,050人		R6目標									
H10 ~		970千円	0人				R6実績									
542	産業経済部	産業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標を達成しており、一定の成果が挙げられていると考えられる。	R5年度に改善した点	8 働きがいも経済成長も		
			重要	自治事務	6,900千円	5,726千円	①補助対象者数	新規加入事業所数	加入は事業所単位で行われることから、新規に加入した事業主の数を目標値とした。	R5年度に改善した点						
			根拠法令		R5予算現額	R5決算額(見込み)				②補助対象事業所数			R4目標		R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析
					6,900千円	5,550千円	実績	16事業所	32事業所	R5目標						R5実績
			事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合				R4目標			R4実績		R5目標値が未達成の理由・分析	
					0.17人	0.1人	①459人	16事業所	30事業所	R5目標			R5実績		中小企業の労働者の処遇改善に有効な事業であるため、周知方法等を見直しながら、引き続き事業を実施していく。	どのよう貢献したか
			中小企業に勤務する常用労働者及びパートタイム労働者の福祉の向上、雇用の安定及び中小企業の振興を図ることを目的に、市内事業所が退職金共済制度に新規加入した場合に、3年間を限度とし、1年間に支払った共済掛金(従業員1人当たりの月額掛金が1万円を超える場合は1万円を限度とする)の20%以内で補助金を交付する。		1,360千円	0.1人				R6目標						
					0.17人	0.1人	②88事業所	16事業所		R6目標						評価者
期間		0.17人	0.1人	R6実績						産業振興課長 奈良 和子						
		1,374千円	0.1人													

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)														
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目														
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠																			
542	産業経済部	産業振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①年間利用件数 ②トレーニングルーム利用者数	年間利用率(各部屋平均)	年間利用件数/総利用区分数(9施設×6区分×開館日数)	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	A	成果指標の目標を概ね達成しており、一定の成果が挙げられていると考えられる。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を												
			重要	自治事務		31,972千円	31,969千円									R5予算現額		R5決算額(見込み)	R5実績	R5実績									
			根拠法令	ラーク所沢条例、ラーク所沢条例施行規則		51,208千円	51,118千円																						
			ラーク所沢運営事業	事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合									①9,333件 ②7,795人		R5目標	R5実績	R5目標値が未達成の理由・分析									
				勤労者等の文化、教養及び福祉の増進を目的として設置され、現在は指定管理者が運営している。施設内の会議室等の貸し出しを行うとともに、各種自主事業を実施している。		0.36人	0人														実績	50.0%	46.5%						
						2,881千円	0人														R6目標	50.0%	49.7%						
						R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合														0.38人	0人	R6実績	50.0%					
			期間	S63 ~		3,071千円	0人																				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
																										評価者	産業振興課長 奈良 和子	指定管理者の応募時の提案事項の進捗状況や、施設の修繕や定期点検等が適正に行われているか等、定期的に確認していく。	勤労者等の福祉の増進と雇用の安定をはじめ、市民のコミュニティ活動の推進に貢献した。
			542	産業経済部		産業振興課	実施計画ランク									事業の種類別		一般会計	R4予算現額	R4決算額	①埼玉県労働セミナー受講者数(延べ人数) ②所沢市労働セミナー受講者数[中学生](延べ人数) ③一般労働相談者数	セミナー参加者のうち、勤労者及び使用者の受講者数(延べ人数)	受講者数のうち、勤労者及び使用者である受講者数を目標値とした。	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	A	勤労者と使用者の双方が労働するうえでのルールについて、正しく理解することで、トラブルの未然防止になる。そうすることで、生産性の向上や社会の発展にもつながる。また、実際に発生したトラブルに対しては、専門家による一般労働相談を通して問題解決へ導けるような体制を維持している。	R5年度に改善した点
重要	自治事務	393千円			242千円		R5予算現額	R5決算額(見込み)	R5実績	R5実績																			
根拠法令	-	393千円			229千円																								
労働セミナー・労働相談等開催事業	事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費			R4その他職員従事割合		①370人 ②370人 ③26人	R5目標	R5実績	R5目標値が未達成の理由・分析																			
	労働をめぐる様々なトラブルの解決等を目的として、労働セミナー、労働相談等を実施する。 ○労働セミナー ・埼玉県との共催により、労働法の基礎知識や安全衛生を学ぶための社会人向けセミナーを開催 ・就職を希望する市内の中学生を対象とする労働法の基礎を学ぶためのセミナーを開催する。 ○労働相談 社会保険労務士を相談員として、労働に関する相談を行うことで、労働者及び事業主が抱える様々な悩みや疑問を解決する。	0.28人			0.05人						実績	100人	194人																
		2,241千円			0.05人						R6目標	100人	326人																
		R5正規職員人件費			R5その他職員従事割合						0.14人	0.05人	R6実績	100人															
期間	S57 ~	1,131千円			0.05人											評価者	産業振興課長 奈良 和子		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか									
																			埼玉県労働セミナーでは、令和3年度より対面とオンラインの両方の形で開催している。所沢市労働セミナーは、令和5年度より中学生を対象として実施した。一般労働相談では、チラシを作成し配布するとともに、ホームページや事業者向けメールマガジンにも適宜掲載した。	勤労者に必要な労働に関する基礎知識の習得をはじめ、労働安全衛生の維持・向上に貢献した。労働者及び経営者が抱える労働に係る様々な悩みの解消に貢献した。									
542	産業経済部	農業振興課			実施計画ランク		事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①農福連携情報提供回数 ②体験農場「福祉枠」利用区画数 ③先進事例調査研究回数	農福連携に係る情報提供回数	農福連携の取組みを推進するには、農業・福祉の連携事例や支援事業等の認知度を向上を図る必要があるため、情報の提供回数を目標とした。令和5年度は、認知度向上を図るため情報提供回数は前年実績と同様とし、今後の取組みを検討する。	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	S		窓口での周知、体験農場福祉枠の募集、福祉事業者への農福連携に関する取り組みの受託依頼など広く情報提供を行った。また、県立所沢おぞら特別支援学校の農業体験学習授業に協力するなど、農福連携に向けた取り組みを進めている。	R5年度に改善した点									2 飢餓をゼロに
			重要	自治事務	0千円	0千円	R5予算現額		R5決算額(見込み)	R5実績								R5実績											
			根拠法令	-	0千円	0千円																							
			農福連携推進事業	事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	①3回 ②0区画 ③0回		R5目標	R5実績								R5目標値が未達成の理由・分析											
				農業分野と福祉分野の垣根を越えた「農福連携」の取組みを推進することにより、農業経営体には働き手を提供し、高齢者や障害者には生きがいや働く場を創出することで、農業分野での人手不足を解消しつつ障害者等の活躍を促していく。具体的には、先進事例の調査研究を進めるとともに、関係機関の協力を得ながら、取組みを周知し、農福連携を浸透させていく。また、連携を希望する事業者を対象に高齢者等の受入や農業参入に関する相談受付を行っている。	0.22人	0人														実績	3回	3回							
					1,760千円	0人														R6目標	3回	3回							
					R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合														0.22人	0人	R6実績	3回						
			期間	H31 ~	1,778千円	0人																			評価者	農業振興課長 前田 亘一	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
																											農福連携の認知度を向上させる必要があるため、引き続き情報提供を行っていく。また、庁内での連携体制の検討や、どのような作業内容、時期であれば福祉事業者が受託できるか情報収集し、今後の取組みを検討する。	農業の労働力不足の解消	

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)			
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目			
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠								
553	経営企画部	企画総務課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	多文化共生に関する研修や講座を実施する。①多文化共生に関する研修や講座を実施する。②NGOやボランティアと連携し、外国人市民への支援を行う。	①研修及び講座参加者の多文化共生への理解度 ②多文化共生に取り組んでいる所属数	多文化共生に取り組んでいる所属数	市全体で多文化共生に取り組むには、各所属で多文化共生を理解して取組みを進めていく必要があるため。	R5目標値が未達成の理由・分析	B	多文化共生に取り組む所属数を増やすため、研修や広報を行うことで、職員へ多文化共生への意識啓発を行っている。	R5年度に改善した点	10 人や国の不平等をなくそう		
			重要	自治事務		87千円	30千円								R4目標		R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析
			根拠法令	根拠法令		R5予算現額	R5決算額(見込み)								R5目標		R5実績	既に多文化共生に取り組んでいる所属がこの数年で増えており、数を増やすことが難しくなってきたため。
			第6次所沢市総合計画前期基本計画	96千円		21千円	50所属								49所属			
			事業の目的及び具体的な内容	事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合								R4目標		R4実績	既に多文化共生に取り組んでいる所属がこの数年で増えており、数を増やすことが難しくなってきたため。
			日本人市民と外国人市民が互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員としての共生意識を育むことを目的とする。	0.80人		0人	R5目標								R5実績			
			期間	期間		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合								R6目標		R6実績	既に多文化共生に取り組んでいる所属がこの数年で増えており、数を増やすことが難しくなってきたため。
			H31 ~	6,402千円		0人	50所属								49所属			
						R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合								R6目標		R6実績	既に多文化共生に取り組んでいる所属がこの数年で増えており、数を増やすことが難しくなってきたため。
				0.55人		0人	50所属								49所属			
		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R6目標	R6実績	既に多文化共生に取り組んでいる所属がこの数年で増えており、数を増やすことが難しくなってきたため。												
	4,445千円	0人	50所属	49所属														
561	市民部	文化芸術振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①まちなかコンサートの開催 ②音まちファミリーコンサートの開催	【R5目標まで】「音まち」推奨制度推奨数 【R6目標から】「音楽のあるまちづくり」SNSのフォロワー数	【R5目標まで】市内の音楽コンテンツを推奨することで、本市を市内外にアピールしてイメージアップを図るため。 【R6目標から】文化芸術に関する施策の満足度に相関性のある数値であると判断したため。	R5目標値が未達成の理由・分析	B	目的達成に向けてR4実績より件数は伸びており、ある程度成果は出ている。目標にはやや達成しなかった(95%)が、その要因は手続面の機能不全によるものであり、現在は回復している。以上のことからBが妥当と判断した。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを			
			優先	自治事務		1,155千円	711千円							R4目標		R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	
			根拠法令	根拠法令		R5予算現額	R5決算額(見込み)							R5目標		R5実績	年度当初は、対象となる音楽コンテンツの選定手続を外部団体が担っていたが、年度途中で諸事情により機能不全に陥った。12月から所沢市が直接申請を受け付ける方式に変更し、手続は正常に戻ったが、それまでの間の推奨数が伸びなかったため、目標値は未達成となった。	
			文化芸術基本法	1,165千円		1,163千円	40件							38件				
			事業の目的及び具体的な内容	事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合							R6目標		R6実績	年度当初は、対象となる音楽コンテンツの選定手続を外部団体が担っていたが、年度途中で諸事情により機能不全に陥った。12月から所沢市が直接申請を受け付ける方式に変更し、手続は正常に戻ったが、それまでの間の推奨数が伸びなかったため、目標値は未達成となった。	
			あらゆる世代の市民や所沢市を訪れる方々に、音楽を演奏する機会、聴く機会を常に身近なものとして定着させ、豊かな音楽文化が持続的に発展できるよう取り組んでいく。プロ、アマを問わず音楽を通じた交流や音楽環境の活性化を図る。	0.95人		0.05人	1,980件											
			期間	期間		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合							R6目標		R6実績	年度当初は、対象となる音楽コンテンツの選定手続を外部団体が担っていたが、年度途中で諸事情により機能不全に陥った。12月から所沢市が直接申請を受け付ける方式に変更し、手続は正常に戻ったが、それまでの間の推奨数が伸びなかったため、目標値は未達成となった。	
			H24 ~	7,602千円		0.1人	1,980件											
						R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合							R6目標		R6実績	年度当初は、対象となる音楽コンテンツの選定手続を外部団体が担っていたが、年度途中で諸事情により機能不全に陥った。12月から所沢市が直接申請を受け付ける方式に変更し、手続は正常に戻ったが、それまでの間の推奨数が伸びなかったため、目標値は未達成となった。	
				1.12人		0.1人	1,980件											
		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R6目標	R6実績	年度当初は、対象となる音楽コンテンツの選定手続を外部団体が担っていたが、年度途中で諸事情により機能不全に陥った。12月から所沢市が直接申請を受け付ける方式に変更し、手続は正常に戻ったが、それまでの間の推奨数が伸びなかったため、目標値は未達成となった。												
	9,051千円	0.1人	1,980件															
561	市民部	文化芸術振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①年間施設利用日数(日) ②年間施設利用回数(回) ③自主事業イベント観客入場率(%)	施設稼働率(%) ※年間利用回数÷年間利用可能回数(閉館日を除く)	所沢市民文化センターは、本市における文化芸術活動の拠点であり、市民が芸術に触れる機会の増進を図り、施設利用者の増加を促進するために施設稼働率を指標とする。令和6年度は前年度実績値以上を目指すものとする。	R5目標値が未達成の理由・分析	A	施設稼働率は目標値を下回ったが、開館30周年という節目にあたって充実した事業を実施し、自主事業における来場者数や入場料収入、施設貸与に伴う利用料金収入が過去最高となる等の実績が上げられたため。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを			
			重要	自治事務		746,542千円	733,781千円							R4目標		R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	
			根拠法令	根拠法令		R5予算現額	R5決算額(見込み)							R5目標		R5実績	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、稼働率は改善傾向にあるものの、完全には回復していない状況である。コロナ禍以前の実績に近い高い目標値を設定したことが未達成の一因と考えられる。	
			所沢市民文化センター条例、所沢市民文化センター条例施行規則	737,536千円		736,450千円	60.0%							55.6%				
			事業の目的及び具体的な内容	事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合							R6目標		R6実績	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、稼働率は改善傾向にあるものの、完全には回復していない状況である。コロナ禍以前の実績に近い高い目標値を設定したことが未達成の一因と考えられる。	
			本市の文化芸術振興のため、所沢市民文化センターにおける事業運営と施設管理を行い、市民の芸術に触れ合う機会の増進と施設利用者の増加を促進する。また、施設の管理運営方法については、指定管理者制度を導入しており、指定管理者である公益財団法人所沢市文化振興事業団が実施している。	0.86人		0.05人	57.0%											
			期間	期間		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合							R6目標		R6実績	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、稼働率は改善傾向にあるものの、完全には回復していない状況である。コロナ禍以前の実績に近い高い目標値を設定したことが未達成の一因と考えられる。	
			H5 ~	6,882千円		0.09人	57.0%											
						R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合							R6目標		R6実績	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、稼働率は改善傾向にあるものの、完全には回復していない状況である。コロナ禍以前の実績に近い高い目標値を設定したことが未達成の一因と考えられる。	
				0.93人		0.09人	57.0%											
		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R6目標	R6実績	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、稼働率は改善傾向にあるものの、完全には回復していない状況である。コロナ禍以前の実績に近い高い目標値を設定したことが未達成の一因と考えられる。												
	7,515千円	0.09人	57.0%															

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠						
561	市民部	文化芸術振興課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、利用日数が増加し、目標値を上回る施設利用率を達成できたため。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを		
			重要	自治事務	12,782千円	12,504千円	①年間施設利用日数(日)	施設稼働率(%) ※年間利用回数÷年間利用可能回数(閉館日を除く)	R4目標	R4実績					R5目標値が未達成の理由・分析	
			根拠法令	所沢駅東口市民ギャラリー管理条例、所沢駅東口市民ギャラリー条例施行規則	R5予算現額	R5決算額(見込み)										②利用件数(団体・個人)
			事業の目的及び具体的な内容	所沢駅東口市民ギャラリーは、市民の文化芸術活動等の促進を図ることを目的とした施設であり、ギャラリーとして一般利用に供することを目的としている。また、施設の管理運営方法については、指定管理者制度を導入しており、指定管理者である公益財団法人所沢市公共施設管理公社が実施している。	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	50.0%	65.5%	目標達成済						
			期間	H29 ~	0.37人	0人	①242	R5目標	R5実績							
					2,961千円	0人	②34	65.0%	67.2%							
					R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		R6目標								
					0.61人	0.04人		70.0%								
		4,929千円														
562	教育総務部	文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	調査依頼のあった件について100%調査実施ができたため目標は達成している。特に夏場は熱中症対策を講じながらの調査となるが、今後も調査に従事する職員の健康管理に注意しながら着実に調査を進めていく。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに		
			重要	自治事務	37,192千円	32,724千円	①確認調査実施件数	確認調査依頼件数に対する確認調査実施件数	R4目標	R4実績					R5目標値が未達成の理由・分析	
			根拠法令	文化財保護法・埼玉県文化財保護条例・所沢市文化財保護条例	R5予算現額	R5決算額(見込み)										②発掘調査実施件数
			事業の目的及び具体的な内容	開発等により遺跡が破壊される前に、記録保存を行い、後世へ伝えることを目的に実施する。埋蔵文化財包蔵地(遺跡)内で開発等が計画された段階で確認調査を実施する。その結果、遺構が発見され、開発等により破壊される可能性がある場合には発掘調査を実施する。発掘調査は、正職員と会年職員等で調査の規模・期間・難易度により適宜チームを編成して行う。	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	100.0%	100.0%	目標達成済						
			期間	S51 ~	1.01人	11.5人	①85件	R5目標	R5実績							
					8,082千円	7.53人	②8件	100.0%	100.0%							
					R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	③3,849.8㎡	R6目標								
					1.03人	7.53人		100.0%								
		8,323千円														
562	教育総務部	文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	当初の計画通り調査報告書が刊行されており、目標値を達成している。しかしながら、未刊行の調査が依然として多いことから、一つでも多くの調査結果を報告書として刊行できるように今後も取り組んでいく。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに		
			重要	自治事務	11,119千円	6,942千円	①年報掲載の確認・発掘調査数	発掘調査報告書刊行調査回数	R4目標	R4実績					R5目標値が未達成の理由・分析	
			根拠法令	文化財保護法・埼玉県文化財保護条例・所沢市文化財保護条例	R5予算現額	R5決算額(見込み)										②報告書を刊行した発掘調査件数
			事業の目的及び具体的な内容	報告書の刊行により発掘調査の成果を公開することで、市民をはじめ歴史及び郷土研究への貢献を目的に実施する。また、年報の刊行により発掘調査や確認調査の成果をいち早く公開することで、市民や開発事業者等に所沢市の地中に刻まれた貴重な文化遺産を周知し、文化財保護意識を啓発することで、開発計画など遺跡の破壊を未然に防止する効果も期待できる。	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	380件	383件	目標達成済						
			期間	S52 ~	0.28人	6人	①93件	R5目標	R5実績							
					2,241千円	7.5人	②6件	387件	389件							
					R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		R6目標								
					0.36人	7.5人		398件								
		2,909千円														

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目			
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	R4目標					R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	
562	教育総務部	文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	実績値は目標を下回っているが、「埋文まつり」アンケートでは、参加者の9割以上が「昔の人々の暮らしの跡や使っていた土器などを大切にしたいと思う」と回答しており、事業を通じて関心や理解が図られているためB評価とした。地中に眠る埋蔵文化財の魅力伝えるため、学校と連携した情報発信を進め、子どもから高齢者まで多くの市民が埋蔵文化財に親しむ機会の創出に引き続き努めていく。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに				
			重要	自治事務		1,988千円	1,106千円	①来館者人数 ②埋文まつりの参加者数 ③出張事業・講師派遣等の参加者数	文化財公開活用事業への参加者数	R5目標値が未達成の理由・分析			R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに				
			根拠法令	R5予算現額		R5決算額(見込み)	R4正規職員人件費								R4その他職員従事割合	R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに
			文化財保護法・所沢市文化財保護条例	2,034千円		1,654千円												
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合	3,121千円	0.5人	実績	8,600人			3,937人	R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに		
			埋蔵文化財に対する理解を深めるとともに、郷土の歴史や文化財保護意識を醸成することを目的に実施する。主な内容は、①小中学校を対象とした来館授業・出張授業・職場体験学習等 ②施設見学・講師派遣 ③埋文まつり等の体験型イベント ④最新発掘展示 ⑤外部公共施設等への資料貸出等	R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	0.39人	1.8人	①3,672人	8,600人			4,396人	前年度よりも各実績値は上がっているが、コロナ禍前には戻っていないため、引き続き、普及公開事業の充実に努めていく。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	普及公開事業により、市民等に所沢市内に残る遺跡の情報を分かりやすく伝えた。	
			期間	H6 ~		3,152千円	0.39人	1.8人	②449人 ③275人	8,600人			4,396人	前年度よりも各実績値は上がっているが、コロナ禍前には戻っていないため、引き続き、普及公開事業の充実に努めていく。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	普及公開事業により、市民等に所沢市内に残る遺跡の情報を分かりやすく伝えた。	
			期間	H6 ~		3,152千円	0.39人	1.8人	②449人 ③275人	8,600人			4,396人	前年度よりも各実績値は上がっているが、コロナ禍前には戻っていないため、引き続き、普及公開事業の充実に努めていく。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	普及公開事業により、市民等に所沢市内に残る遺跡の情報を分かりやすく伝えた。	
			期間	H6 ~		3,152千円	0.39人	1.8人	②449人 ③275人	8,600人			4,396人	前年度よりも各実績値は上がっているが、コロナ禍前には戻っていないため、引き続き、普及公開事業の充実に努めていく。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	普及公開事業により、市民等に所沢市内に残る遺跡の情報を分かりやすく伝えた。	
			期間	H6 ~		3,152千円	0.39人	1.8人	②449人 ③275人	8,600人			4,396人	前年度よりも各実績値は上がっているが、コロナ禍前には戻っていないため、引き続き、普及公開事業の充実に努めていく。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	普及公開事業により、市民等に所沢市内に残る遺跡の情報を分かりやすく伝えた。	
期間	H6 ~	3,152千円	0.39人	1.8人	②449人 ③275人	8,600人	4,396人	前年度よりも各実績値は上がっているが、コロナ禍前には戻っていないため、引き続き、普及公開事業の充実に努めていく。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	普及公開事業により、市民等に所沢市内に残る遺跡の情報を分かりやすく伝えた。							
562	教育総務部	文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	当初の計画通り調査報告書が刊行されており、目標値を達成している。しかしながら、未刊行の調査が依然として多いことから、一つでも多くの調査結果を報告書として刊行できるように、その下地となる遺物の整理を進めていく。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに				
			重要	自治事務		12,740千円	7,915千円	①整理作業遺跡件数 ②整理作業遺構件数 ③出土遺物の保存処理・化学分析	発掘調査報告書刊行調査回数	R5目標値が未達成の理由・分析			R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに				
			根拠法令	R5予算現額		R5決算額(見込み)	R4正規職員人件費								R4その他職員従事割合	R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに
			文化財保護法・埼玉県文化財保護条例・所沢市文化財保護条例	13,047千円		11,464千円												
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合	1,680千円	6人	実績	380件			383件	目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	遺物整理保存により、後世への記録作成と市民等に所沢市内に残る遺跡の情報を公開する下地を作った。	
			遺跡から出土した遺物の整理作業や保存処理を行い、発掘調査報告書に掲載するとともに、実物資料として後世に伝えていくことを目的に実施する。主な内容は、①遺物の水洗 ②注記 ③接合 ④復元 ⑤着色 ⑥報告書掲載遺物の選出 ⑦実測 ⑧拓本 ⑨保存処理 ⑩科学分析 など	R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	0.21人	3.4人	①14件 ②37件 ③7点	387件			389件	目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	遺物整理保存により、後世への記録作成と市民等に所沢市内に残る遺跡の情報を公開する下地を作った。	
			期間	S50 ~		1,697千円	0.21人	3.4人	①14件 ②37件 ③7点	387件			389件	目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	遺物整理保存により、後世への記録作成と市民等に所沢市内に残る遺跡の情報を公開する下地を作った。	
			期間	S50 ~		1,697千円	0.21人	3.4人	①14件 ②37件 ③7点	387件			389件	目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	遺物整理保存により、後世への記録作成と市民等に所沢市内に残る遺跡の情報を公開する下地を作った。	
			期間	S50 ~		1,697千円	0.21人	3.4人	①14件 ②37件 ③7点	387件			389件	目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	遺物整理保存により、後世への記録作成と市民等に所沢市内に残る遺跡の情報を公開する下地を作った。	
			期間	S50 ~		1,697千円	0.21人	3.4人	①14件 ②37件 ③7点	387件			389件	目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	遺物整理保存により、後世への記録作成と市民等に所沢市内に残る遺跡の情報を公開する下地を作った。	
期間	S50 ~	1,697千円	0.21人	3.4人	①14件 ②37件 ③7点	387件	389件	目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	遺物整理保存により、後世への記録作成と市民等に所沢市内に残る遺跡の情報を公開する下地を作った。							
562	教育総務部	文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	令和4年度で史跡整備に伴う発掘調査は終了したため、調査に伴う現地説明会の開催がなく、目標値を達成できなかった。令和6年度以降は、「現地説明会参加者数」を「普及事業参加者数」に変更し、講演会や出土遺物展示などを通じて、「滝の城跡」と発掘調査成果を市民に伝える活動に努めるとともに、史跡整備を進めていく。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに				
			重要	自治事務		4,567千円	4,539千円	①滝の城跡HPアクセス件数+現地説明会参加者数 ②発掘調査報告書の延べ販売部数	保存会会員数+現地見学者数(団体見学ののみ)+現地説明会参加者数	R5目標値が未達成の理由・分析			R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに				
			根拠法令	R5予算現額		R5決算額(見込み)	R4正規職員人件費								R4その他職員従事割合	R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに
			文化財保護法・埼玉県文化財保護条例 所沢市文化財保護条例	3,955千円		972千円												
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合	3,361千円	0人	実績	250人			145人	当初予定していた追加の発掘調査を行う必要がなくなり、現地説明会を実施しなかったため。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	豊かな自然と発掘調査成果を活かして、現地を訪れた方が滝の城跡の歴史を感じられるような史跡整備に努める。	
			中世城跡の本質的な価値を見出し、計画性のある長期的な整備を進める事により、郷土の貴重な文化財である「滝の城跡」を後世へ譲り伝えることを目的に実施する。主な内容は、①保存管理計画の策定 ②史跡指定地内の遺構確認 ③危険箇所の応急的な修繕 ④中世城跡として適切な保存整備 ⑤整備基本計画に基づいた史跡整備	R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	0.52人	0人	①8,998件 ②41冊	145人			81人	当初予定していた追加の発掘調査を行う必要がなくなり、現地説明会を実施しなかったため。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	豊かな自然と発掘調査成果を活かして、現地を訪れた方が滝の城跡の歴史を感じられるような史跡整備に努める。	
			期間	H19 ~		4,202千円	0.52人	0人	①8,998件 ②41冊	145人			81人	当初予定していた追加の発掘調査を行う必要がなくなり、現地説明会を実施しなかったため。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	豊かな自然と発掘調査成果を活かして、現地を訪れた方が滝の城跡の歴史を感じられるような史跡整備に努める。	
			期間	H19 ~		4,202千円	0.52人	0人	①8,998件 ②41冊	145人			81人	当初予定していた追加の発掘調査を行う必要がなくなり、現地説明会を実施しなかったため。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	豊かな自然と発掘調査成果を活かして、現地を訪れた方が滝の城跡の歴史を感じられるような史跡整備に努める。	
			期間	H19 ~		4,202千円	0.52人	0人	①8,998件 ②41冊	145人			81人	当初予定していた追加の発掘調査を行う必要がなくなり、現地説明会を実施しなかったため。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	豊かな自然と発掘調査成果を活かして、現地を訪れた方が滝の城跡の歴史を感じられるような史跡整備に努める。	
			期間	H19 ~		4,202千円	0.52人	0人	①8,998件 ②41冊	145人			81人	当初予定していた追加の発掘調査を行う必要がなくなり、現地説明会を実施しなかったため。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	豊かな自然と発掘調査成果を活かして、現地を訪れた方が滝の城跡の歴史を感じられるような史跡整備に努める。	
期間	H19 ~	4,202千円	0.52人	0人	①8,998件 ②41冊	145人	81人	当初予定していた追加の発掘調査を行う必要がなくなり、現地説明会を実施しなかったため。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	豊かな自然と発掘調査成果を活かして、現地を訪れた方が滝の城跡の歴史を感じられるような史跡整備に努める。							

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)									
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目										
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	R4目標					R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析								
562	教育総務部	文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目											
			重要	自治事務		5,346千円	5,339千円								文化財に関する市民理解度(文化財保護課所管施設の見学及び主催事業への参加者数)	文化財を身近に感じ、後世へ語り伝えていく意識を持つ市民を増やすことを目的としているため、市民理解度を指標とする。	R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに						
			文化財公開活用事業	根拠法令		R5予算現額	R5決算額(見込み)											①所沢市web文化財保護課所管コンテンツ年間アクセス総数 ②所沢市web文化財保護課所管コンテンツ月別最多掲載数 ③公開事業の達成度(アンケートの所沢市の歴史文化や郷土を大切にしたいと「とても思った」「思った」と回答した割合)	文化財に関する市民理解度(文化財保護課所管施設の見学及び主催事業への参加者数)	文化財を身近に感じ、後世へ語り伝えていく意識を持つ市民を増やすことを目的としているため、市民理解度を指標とする。	R5目標値が未達成の理由・分析	11 住み続けられるまちづくりを			
				文化財保護法、埼玉県文化財保護条例、所沢市文化財保護条例		5,654千円	5,359千円															R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
				事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合																実績		11,300人
			文化財の公開や文化財を活用した事業を実施することで、市民等に「ふるさと所沢」への愛着や、文化財保護意識を醸成することを目的に実施する。主な内容は、①指定文化財等の情報公開 ②指定文化財等の管理 ③展示や講座などの指定文化財等の公開活用事業の開催	0.93人		0.3人	R5目標											R5実績	各施設や主催事業への来場者数は令和4年度よりも増加しているが、民俗資料館及び埋蔵文化財調査センター来館者は新型コロナ以前の数値に戻っていない。	移動が困難な文化財は現地での公開を行うなど、所有者にも協力を要請し、市民に文化財の魅力を伝える機会を増やす。					
			期間	7,442千円		R5正規職員人件費												R5その他職員従事割合			①548,716件	11,600人	7,212人	文化財の公開活用により所沢市の文化財を市民等に魅力的に伝えた。	
			H18 ~	0.89人		0.25人	R6目標												②294件		評価者				
				7,192千円		0.25人	R6実績												③98.6%		文化財保護課長 稲田 里織				
			562	教育総務部		文化財保護課	実施計画ランク											事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A
重要	自治事務	3,323千円			3,091千円		①個体数(年度末時点) ②年間死亡個体数	埋蔵文化財調査センターにおいて人工増殖により増加した個体数	ミヤコタナゴの種の保存のため、飼育総数個体3,000~3,500尾を目標としていることから、当該年度の人工増殖数を指標とする。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに														
ミヤコタナゴ保護対策事業	根拠法令	R5予算現額			R5決算額(見込み)					R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	定期的な清掃・水替えが行えるように水槽管理のルールを見直した。												
	所沢市文化財保護条例、絶滅のおそれのある希少野生動物種の保存に関する法律	3,352千円			3,043千円						実績		1,000尾	1,082尾	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み										
	事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費			R4その他職員従事割合								①3,451尾	1,000尾	1,012尾	どのように貢献したか									
絶滅危惧種で国指定天然記念物「ミヤコタナゴ」の種の保存と、環境学習等としての活用を図ることを目的に実施する。主な内容は、①人工増殖による必要な個体数の維持 ②市内小学校等での展示飼育(保護啓発と環境学習) ③中学校での飼育体験	0.65人	1人			R5目標					R5実績	目標達成済	埋蔵文化財調査センター施設内において人工増殖を行い、個体数維持に努めているが、自然復帰に向けては放流場所の環境など多くの課題があり、関係部署との連携を図ることが不可欠である。													
期間	5,201千円	R5正規職員人件費								R5その他職員従事割合			②2,598尾	1,000尾	小中学校での飼育展示で地域環境教育に貢献した。										
H8 ~	0.63人	4.85人			R6目標						5,091千円	4.85人	評価者												
	5,091千円	4.85人			R6実績								文化財保護課長 稲田 里織												
562	教育総務部	文化財保護課			実施計画ランク					事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	評価理由		現状の課題	事業自体が貢献する項目				
			重要	自治事務	300千円	332千円				①伝統芸能発表会の鑑賞者数(出演者+来場者数) ②重松流祭囃子保存会の活動参加者数(重松流祭囃子各活動の出演者) ③岩崎獅子舞保存会の活動参加者数(奉納岩崎獅子舞の出演者+来場者数)		郷土の民俗芸能の披露日数	市内に伝承されている民俗芸能の市民への周知と継承、その保存団体の存続と発展を目的としているため、披露日数を指標としている。						R5年度に改善した点			4 質の高い教育をみんなに			
			郷土の民俗芸能支援事業	根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析										「伝統芸能発表会」の開催にあたり、一般財団法人地域創造に申請して助成を受けた。						
				文化財保護法、埼玉県文化財保護条例、所沢市文化財保護条例	721千円	721千円		実績											10日			19日	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
				事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合													17日			34日	どのように貢献したか		
			市内に伝承されている民俗芸能を広く市民に周知し、その技能や道具類を後世へ語り伝えるとともに、郷土の民俗芸能を継承する保存団体の存続と発展を目的に実施する。主な内容は、①伝統芸能発表会の開催(隔年) ②郷土の民俗芸能を継承する保存団体の自主的な活動を支援	0.28人	0人	R5目標	R5実績	目標達成済	引き続き、継承団体の活動支援に努めていく。																
			期間	2,241千円	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合												27日				無形民俗文化財の紹介や継承団体への支援を行い、次世代への継承を図った。		
			H5 ~	0.62人	0.05人	R6目標		5,010千円	0.05人										評価者						
				5,010千円	0.05人	R6実績													文化財保護課長 稲田 里織						

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)							
					会計	投入コスト		活動実績(R5)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目								
						R4予算現額	R4決算額		項目名	指標名					目標設定の考え方・根拠							
562	教育総務部	文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標値は達成しているが、指定文化財の種類により所有者等が負担する経費負担は大きい。所有者等と平時から連絡を密にし、補助金の適正な執行とともに、財政的な援助以外にも市ができる支援はないか、指定文化財の維持管理に努める必要がある。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに							
			重要	自治事務		2,406千円	1,593千円							①管理費等補助件数 ②修理等補助件数		所有者(管理者)の申請件数と交付件数の率	指定文化財は市民の個人管理も多く、経費の一部を市が支援することは、指定文化財を良好な状態で保存・管理することにつながるため指標とした。	補助金申請に合わせて所有者等へのアンケートを実施し、所有者等が抱える課題の把握に努めた。	11 住み続けられるまちづくりを			
			根拠法令	事業の目的及び具体的な内容		R5予算現額	R5決算額(見込み)	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み											
			所沢市文化財保護条例、所沢市文化財等保存事業費補助金等交付要綱	市内に所在する指定文化財を保存・管理し、これを良好な状態で後世に継承するために実施する。主な内容は、①市指定文化財の所有(管理)者が補助金の交付申請をする ②文化財等保存事業費補助金等交付要綱に基づき交付 ③実績報告により管理状況等を確認する		2,273千円	1,564千円							実績	100.0%	100.0%	目標達成済	指定文化財はそれぞれ所有者が管理しており、文化財の種類によって所有者等の負担が増大している。市民共有の財産である文化財を継続的に管理するためには、担当職員のスキルアップや、所有者等との連絡を密にするなど、費用以外の支援も積極的に担っていく必要がある。	どのように貢献したか			
			事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	①62件 ②申請なし	R5目標	R5実績	R6目標	R6実績							R5目標値が未達成の理由・分析	どのよう			
			0.23人	0.3人		R5正規職員人件費								R5その他職員従事割合	100.0%	100.0%	100.0%			100.0%	100.0%	100.0%
			期間	556 ~		2,101千円	0.26人	0.1人	2,101千円	0.26人	0.1人			2,101千円	0.26人	0.1人	2,101千円	0.26人	0.1人	2,101千円	0.26人	0.1人
			562	教育総務部		文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額			項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	埋蔵文化財調査センターは開設から30年が経過し、施設の老朽化による不具合が年々増加している。今後も必要箇所を見極めた上で、計画的な修繕を進めていく。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに	
重要	自治事務	9,292千円			9,067千円		①施設利用者数(来館者人数+埋文まつり参加者数) ②年間開館日数	年間の施設修繕件数		来館者等の安全管理及び収蔵資料を後世に伝えるために適正な施設管理を行うことが目的であるため、計画的な施設修繕が遂行できているか、修繕実施数を指標とした。	施設全体に目を配り日々の維持管理を行いながら小さな修繕箇所を発見し、職員ができることは業者任せにせず実施するよう努めた。	10 人や国の不平等をなくそう										
根拠法令	事業の目的及び具体的な内容	R5予算現額			R5決算額(見込み)						R4目標		R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み							
文化財保護法・埼玉県文化財保護条例・所沢市文化財保護条例	来館者等の安全管理とともに、発掘調査による出土遺物など収蔵資料を永年にわたって整理・保存し、埋蔵文化財に関する各種情報を後世に伝えるとともに広く提供する施設として、安全かつ適正に管理するために、施設管理業務委託等による各種点検を着実に実施し、修繕箇所を見極めて必要な修繕を実施する。	12,082千円			9,276千円		実績	6件		4件		目標達成済				施設の不具合が増えてきているため、引き続き定期的な日常点検を行い不具合の早期把握と優先順位を決めて計画的な修繕の実施に努めていく。	埋蔵文化財調査センターを適切に管理し、所沢市内に残る遺跡の情報を後世に伝えるとともに、発掘調査で得られた情報を市民に公開する。					
事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合			①4,121人 ②248日						R5目標		R5実績	R6目標	R6実績	R5目標値が未達成の理由・分析	どのよう					
0.64人	0人	R5正規職員人件費					R5その他職員従事割合	6件		6件		6件								6件	6件	6件
期間	H6 ~	4,364千円			0.54人		0人	4,364千円		0.54人	0人	4,364千円	0.54人	0人	4,364千円	0.54人	0人			4,364千円	0.54人	0人
562	教育総務部	文化財保護課			実施計画ランク		事業の種類別	一般会計		R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	前年度よりも来館者数は下回っているが、個人来館者の多くは長く滞在する傾向であり、資料を通じて昔の話をし、郷土への理解を深める」という目的の達成について評価はできると考える。来館者数の増加に向けて、学校教育との連携と情報発信にさらに努めていく。			R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに	
			重要	自治事務	4,264千円	3,437千円	①開館日数 ②来館小中学校数		来館者数	各地域に伝わる民俗資料を展示し見学してもらうことにより、郷土への理解を深める機会を提供することになると考え、来館者数の増加を指標とする。	民具を使用した小学校団体見学時の新たな体験メニューの準備を始めた。							11 住み続けられるまちづくりを				
			根拠法令	事業の目的及び具体的な内容	R5予算現額	R5決算額(見込み)					R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み								
			所沢市民俗資料館条例、所沢市民俗資料館条例施行規則	地域ごとの民俗資料の保存と市民への公開を目的に実施する。主な内容は、①中富・柳瀬・山口民俗資料館の開館業務 開館日：各館月4回 開館時間：午前9時～午後4時30分 入館料：無料 ②地域の特色が見られる民具等の展示 ③小中学校の社会科見学や総合学習の支援	4,956千円	3,580千円	実績		1,600人	1,484人					目標達成済			民俗資料館は地域からの要望により開館した経緯もあるため、山口・富岡・柳瀬の各まちづくりセンターや保存会、地域の方々の協力も模索し、行政と地域が連携して郷土資料を後世に伝えていけるよう努めていく。	どのように貢献したか			
			事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	①144日 ②7校					R5目標	R5実績	R6目標	R6実績				R5目標値が未達成の理由・分析	どのよう			
			0.45人	1.1人	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合		1,500人	1,384人					1,500人					1,384人	1,500人	1,384人
			期間	556 ~	2,909千円	0.36人	1.02人		2,909千円	0.36人	1.02人	2,909千円	0.36人	1.02人	2,909千円			0.36人	1.02人	2,909千円	0.36人	1.02人

